

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	熱環境建材研究小委員会		主査名：野口貴文 就任年月：2011 年 4 月														
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (環境配慮運営委員会)		委員長名：早川光敬 主査名：野口貴文														
設置期間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月																
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>空調エネルギーの負荷の削減およびヒートアイランド現象の緩和のために必要となる建築材料の断熱・遮熱・蓄熱といった熱特性を明らかにするとともに、これらの熱特性を適切に測定するための試験方法に関する調査も実施し、建築物および都市のカーボン・ニュートラル化およびゼロ・エネルギー化の実現に資する建築材料の活用法を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初年度：各種建築材料の熱特性の活用事例についての調査 ・ 2 年度：前年度の調査の継続、各種建築材料の熱特性に関するデータベースの作成、および各種熱特性の測定方法についての調査 ・ 3 年度：各種建築材料の熱特性の効果的な発揮方法についての検討 ・ 4 年度：各種建築材料の熱特性の効果的活用のためのガイドラインの出版 																
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：野口貴文 (東京大学) 幹事：萩原伸治 (建材試験センター)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">委員：石井久史 (LIXIL)</td> <td style="width: 50%;">多賀 洋 (日本設計)</td> </tr> <tr> <td>金澤光明 (旭トステム外装)</td> <td>高橋 拓 (竹中工務店)</td> </tr> <tr> <td>兼松 学 (東京理科大学)</td> <td>藤本郷史 (宇都宮大学)</td> </tr> <tr> <td>北垣亮馬 (東京大学)</td> <td>榎田佳寛 (宇都宮大学)</td> </tr> <tr> <td>小浦孝次 (JSP)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>布井洋二 (旭ファイバーグラス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>長谷川敦志 (ヤマダ・エスバイエルホーム)</td> <td></td> </tr> </table>			委員：石井久史 (LIXIL)	多賀 洋 (日本設計)	金澤光明 (旭トステム外装)	高橋 拓 (竹中工務店)	兼松 学 (東京理科大学)	藤本郷史 (宇都宮大学)	北垣亮馬 (東京大学)	榎田佳寛 (宇都宮大学)	小浦孝次 (JSP)		布井洋二 (旭ファイバーグラス)		長谷川敦志 (ヤマダ・エスバイエルホーム)	
委員：石井久史 (LIXIL)	多賀 洋 (日本設計)																
金澤光明 (旭トステム外装)	高橋 拓 (竹中工務店)																
兼松 学 (東京理科大学)	藤本郷史 (宇都宮大学)																
北垣亮馬 (東京大学)	榎田佳寛 (宇都宮大学)																
小浦孝次 (JSP)																	
布井洋二 (旭ファイバーグラス)																	
長谷川敦志 (ヤマダ・エスバイエルホーム)																	
設置 WG (WG 名：目的)																	
2015 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：															

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	出版物の目次を確定して、各章・各節の担当を決めて、ガイドライン原稿の執筆活動を進めることができた。執筆作業は若干遅れではあるが、予定通り、来年度は原稿を完成させることができると思われる。
委員会活動の問題点・課題	

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。